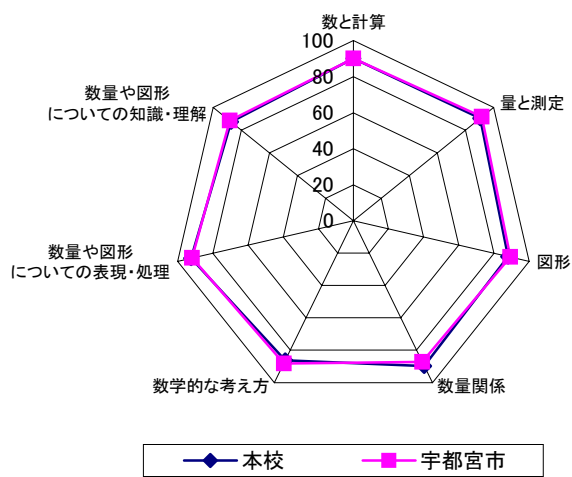


宇都宮市立宝木小学校第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	数と計算	90.0	90.0
	量と測定	90.4	91.6
	図形	88.1	89.4
	数量関係	89.6	87.2
観点別	数学的な考え方	86.1	88.1
	数量や図形についての表現・処理	92.4	91.8
	数量や図形についての知識・理解	87.1	88.2



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算 (90.0%)	・異分母分数の減法、分数の除法、分数の相等、最小公倍数、最大公約数、分数の乗法の文章題に関する設問の正答率は、市平均を下回った。	・かけ算九九、暗算による割り算といった、学習の積み重ねが不十分な児童には、それぞれの意味を早く理解させるように復習させながら指導したい。また、ドリル学習等で一層習熟を図りたい。
量と測定 (90.4%)	・体積、直方体の体積、速さに関する設問の正答率は市平均を下回った。	・直方体や立方体の体積の求め方、速さを求める問題については、考え方をよく理解させると。また、公式を覚えさせ、正しく使えるように繰り返し練習問題を解くなどして習熟を図る。
図形 (88.1%)	・立方体の構成要素、直方体の構成要素、直方体の展開図、立方体の展開図に関する設問の正答率が市平均を下回った。	・展開図を考える問題は、作図をしたり展開図を組み立てたりといった実際の作業を通して理解を図る。また、練習問題を解くことによりさらに深く理解させ、習熟を図る。
数量関係 (89.6%)	・平均とその利用に関する設問の正答率が市平均を下回った。	・平均の考え方をよく理解させ、正しく立式できるようにする。また、簡単な計算でも余白に補助計算をして答えを求めるような学習訓練を積み重ねる。